



西念寺だより

神無月号



令和3年10月15日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 63-2912 FAX 0774-29-9683

念仏の尊さを知り感謝の気持ちでお称えしましょう

月影や	外は十夜の	人通り	正岡子規
門前に	知る人もある	十夜かな	高浜虚子



10月になっても気温の高い日が続く毎日や、海水温の上昇に起因する様々な自然災害のニュースに地球温暖化の進行を肌で感じる一方、青く澄んだ空に流れる雲の形や栗に松茸、梨に秋刀魚に新米と季節感溢れる旬の食べ物等々、そこかしこに実りの秋に相応しい爽やかな季節を感じる今日この頃です。

さて、今年も秋の仏教行事「お十夜」が近づいて参りました。

お十夜は、主に浄土宗の各寺院で10月から11月にかけて行われる法要ですが、この「お十夜」と言う言葉は冬の季語でもあります。冒頭に御紹介しました正岡子規や高浜虚子の俳句にも十夜が季語として使われています。このように歌に詠まれてきたことや、通称の「十夜」に「お」をつけて「お十夜」と親しみを込めて呼ばれてきたことから、この仏教行事が昔から人々の秋の暮らしのなかで親しまれてきた長い歴史を感じさせます。

このお十夜法要ですが、浄土三部経の一つである無量寿経というお経に由来します。



お釈迦さまが説かれた教えを後世の人がまとめたものがお経ですが、さまざまなお経のうち、浄土宗で最も大切にされているのが浄土三部経というお経です。無量寿経はその中の一つで、主に南無阿弥陀仏というお念仏の救いについて説かれています。

この無量寿経には、「善を修すること十日十夜なれば、他方諸仏国土において善をなすこと千歳ならんに勝る」、即ち、仏の世界には煩惱などがなく、修行をするのにとっても良い環境である。しかし、私たちが生きるこの世の中は修行のさまたげとなる迷いや苦しみ、悪行があまりに多い。そのため、この世での十日十夜の行は、仏の世界での千年の修行にも勝ると説かれており、ここを典拠としてお十夜の法要が始まったとされています。

慌ただしい日々のなか、今の自分をしっかりと見つめ直し、将来への思いを巡らせる事の大切さは分かっているにもかかわらず実践できません。

昔から季節ごとに営まれてきた仏教行事の多くは、そんな私たちに「今を生きる自分にとって何が大切なことなのか」を一度立ち止まって改めて気付く機会を与えてくれるもののように感じます。

今年最後の本堂での行事となります。是非皆様お揃いでお参りくださいますようお願い申し上げます。



裏面に続く

【秋の彼岸会の様子から】

9月20日から26日まで、秋の彼岸会を厳修いたしました。23日のお中日法要には総代様や佛教婦人会様評議員様はじめ35名の方々にお参りいただきました。

今回はまだ緊急事態宣言の発令中のこともあり法話やイベント等は行わず、法要のみ短時間での開催とさせていただきました。御参詣いただきました皆様には心より厚く御礼申し上げます。



中日法要の様子

また、お彼岸期間中、遠方からも多くの方々にお参りいただき、御回向をいただきました。彼岸の入りから結願迄の毎日、施主様毎に回向させていただきました。御回向賜りました皆様方、誠にありがとうございました。（別紙をご覧ください）

【お十夜法要のお知らせ】

今年もお十夜法要を下記の日程で行います。

お十夜とはお念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めて「南無阿弥陀仏」とお念仏をお称えする大切な法会です。11月7日(日)午後1時より、厳修いたします。

お参りいただいた皆様方と共に、お念仏をお称えさせていただいた後、今回は京田辺市音楽家協会様の御協力で「大人の為のリトミック」と題しまして、お座りいただいたままでも楽しく身体を動かして身体も心もリフレッシュしていただく取組を予定しています。

別紙プリントをご覧くださいまして、是非多くの方々の御参詣をお待ち申し上げます。



講師の喜多麻衣子氏と岡田綾香氏

【後期齋米(寺院経費)のお願い】

誠に申し兼ねますが例年の如く本年度後期寺院経費の御喜捨をお願い申し上げます。皆様方には何かと御迷惑をお掛けしておりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

- ・担当評議員様のおられる地域につきましては評議員様に御無理をお願いして皆様方の御家庭に回っていただいております。
- ・御遠方の檀信徒様には郵便振替用紙を同封させていただいております。大変御面倒をお掛け致しますが、宜しくお願い申し上げます。

また、お寺にお越しいただいた折にお寺または役員会計様にお届けいただいても拝受させていただきます。

【浄土宗月訓カレンダーの申込みについて】

令和4年用浄土宗月訓カレンダーをお申し込みいただきました方々には、12月中旬に他のプリントと合わせてお届け申し上げます。令和5年用以降の扱いは以下のようにさせていただきます。御了解の程お願い申し上げます。

- ・今回お申し込みいただいた方→不要連絡をいただくまで毎年継続してお届けします。
- ・今回お申込みされなかった方→申込みいただきましたら次年度よりお届けします。

【今回も立派なお花を寄贈いただきました】

竹村伊久美氏より高さが1m近くもある立派な胡蝶蘭を御寄贈いただきました。竹村氏にはこれまでからもお盆やお彼岸など、折に触れお花の鉢植えを寄贈いただき、お寺にお越しの皆様方の目を楽しませていただいております。誠に有り難うございました。

